学校番号	４１１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	山川出版社　詳説日本史Ｂ						
副教材等	帝国書院　図説日本史通覧　　東京法令出版　新編史料日本史						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「過去」を調べ、「現代」と比べ、「将来」を考える学問と捉える。
・因果関係によって歴史的事象はつながっており、歴史を流れの中で捉える。
・考古資料・文献資料・絵画資料等様々な史料から過去を読み解く。
・世界の諸地域の歴史(日本との交流)や地理的条件を考慮に入れ、日本の歴史の特質を考える。

２ 学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	原始・古代から現代に至る歴史の展開に対する関心を高め、意欲的に追究し、歴史的な思考力を育み、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養おうとする。	原始・古代から現代に至る歴史の展開を、政治・経済・社会・国際環境などの諸要素から総合的に考察・判断し、我が国の伝統・文化の形成過程や特質を適切に表現している。	日本の全時代の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	原始・古代から現代に至る歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	作業プリント	定期考査 作業プリント	定期考査 作業プリント	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅰ部 原始・古代 第1章～第3章	**第１章 日本文化のあけぼの**					a:旧石器文化、縄文文化、弥生文化、古墳の造営、律令体制の完成、古代文化、摂関政治、武士の発生と荘園について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:旧石器文化、縄文文化、弥生文化、古墳の造営、律令体制の完成、古代文化、摂関政治、武士の発生と荘園について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:考古資料や中国文献資料等を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:旧石器文化、縄文文化、弥生文化、古墳の造営、律令体制の完成、古代文化、摂関政治、武士の発生と荘園について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 作業プリント
		文化の始まり	○	○	○			
		農耕社会の成立	○	○	○			
		古墳とヤマト政権	○	○	○	○		
		第２章 律令国家の形成						
		飛鳥の朝廷		○	○	○		
		律令国家への道		○	○	○		
		平城京の時代		○	○	○		
		天平文化			○	○		
		平安王朝の形成		○	○	○		
		第３章 貴族政治と国風文化						
		摂関政治		○		○		
		国風文化			○	○		
		地方政治の展開と武士		○	○	○		
	第Ⅱ部 中世 第4章～第5章	**第4章 中世社会の成立**					a:院政と平氏政権、鎌倉幕府の成立と蒙古襲来以降の弱体化、室町幕府の成立と戦国時代への変化、生産力上昇による庶民の台頭、中世武家文化などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:院政と平氏政権、鎌倉幕府の成立と蒙古襲来以降の弱体化、室町幕府の成立と戦国時代への変化、生産力上昇による庶民の台頭、中世武家文化などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:院政と平氏政権、鎌倉幕府の成立と蒙古襲来以降の弱体化、室町幕府の成立と戦国時代への変化、生産力上昇による庶民の台頭、中世武家文化などについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 作業プリント
		院政と平氏の台頭		○	○	○		
		鎌倉幕府の成立		○		○		
		武士の社会	○	○	○	○		
		蒙古襲来と幕府の衰退			○	○		
		鎌倉文化		○	○	○		
		第５章 武家社会の成長						
		室町幕府の成立		○		○		
		幕府の衰退と庶民の台頭	○	○	○	○		
		室町文化	○	○	○	○		
		戦国大名の登場		○		○		

2学期	第Ⅲ部 近世 第6章～第8章	**第6章　幕藩体制の確立**					a:織豊政権、江戸幕藩体制の成立・構造・安定・改革・衰退、江戸期経済の発展、近世諸文化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:織豊政権、江戸幕藩体制の成立・構造・安定・改革・衰退、江戸期経済の発展、近世諸文化を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:織豊政権、江戸幕藩体制の成立・構造・安定・改革・衰退、江戸期経済の発展、近世諸文化を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 作業プリント
		織豊政権	○	○	○	○		
		桃山文化		○	○	○		
		幕藩体制の成立		○	○	○		
		幕藩社会の構造	○	○		○		
		第7章　幕藩体制の展開						
		幕政の安定		○		○		
		経済の発展		○		○		
		元禄文化			○	○		
		第8章　幕藩体制の動揺						
		幕政の改革	○	○		○		
		宝暦・天明期の文化		○	○	○		
		幕府の衰退と近代への道	○	○		○		
		化政文化		○	○	○		
	第Ⅳ部 近代・現代 第9章	**第9章　近代国家の成立**					a:開国から倒幕、明治維新期の諸改革、自由民権運動から立憲国家の確立、日清・日露戦争と産業革命、明治期の文化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:幕末から明治への近代化を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:幕末から明治への近代化の過程・特質を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 作業プリント
		開国と幕末の動乱		○	○	○		
		明治維新と富国強兵	○	○	○	○		
		立憲国家の成立と日清戦争	○	○		○		
		日露戦争と国際関係		○	○	○		
		近代産業の発展	○	○		○		
		近代文化の発達	○		○	○		

3学期	第Ⅳ部 近代・現代 第10章～第13章	**第10章 二つの世界大戦とアジア**					a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
		第一次世界大戦と日本		○		○		
		ワシントン体制		○		○		
		市民生活の変容と大衆文化	○	○		○		
		恐慌の時代		○		○		
		軍部の台頭		○		○		
		第二次世界大戦	○	○	○	○		
		第11章 占領下の日本						
		占領と改革	○	○	○	○		
		冷戦の開始と講和	○	○		○		
		第12章 高度成長の時代						
		55年体制		○	○	○		
		経済復興から高度成長へ	○	○	○	○		
		第13章 激動する世界と日本						
		経済大国への道	○	○		○		
		冷戦の終結と日本社会の動揺	○	○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。